

市測協だより

(第56号)

令和 5 年 1 月発行

一般社団法人 福岡市設計測量業協会

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目3番31号
ハイラーク舞鶴214号

TEL (092) 751-8246 FAX (092) 751-2271

URL <http://f-shisokukyo.or.jp>

E-mail info@f-shisokukyo.or.jp



新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、日頃から当協会の運営に御協力を頂きまして、厚く御礼を申し上げます。令和5年の新年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、7月に新型コロナウイルス感染症第7波と言われる感染爆発が起こり、福岡市においても一日に新規感染者数が5,700人を超える事態となりました。その後、感染者は減少を続けていますが感染の収束とは至らない様です。当協会としては、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた社会経済活動の復興が重要と考え、社会資本の充実と維持管理に邁進していく所存です。

また、台風14号が福岡県に上陸しました。福岡市では、大きな被害はなかったようですが、強力な台風で公共交通機関の計画運休など社会生活に支障をきたしました。災害に強い安全・安心なまちづくりを推進していきたいと存じます。

「災害協定」の強化や建設DXの推進、カーボンニュートラルの実現、SDGsへの取組など、福岡市との良きパートナーとして、「ぬくもりと彩」ある福岡市の実現を推進する一助となるように、より一層努力してまいります。

当協会の益々の発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、新年の挨拶と致します。



新年あけましておめでとうございます。

福岡市設計測量業協会の会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から福岡市水道事業の運営にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、福岡市の水道事業は、令和5年3月1日に創設100周年を迎えます。市民生活と都市の成長を支える重要なライフラインとして、これからの100年もその使命を果たすため、「みなさまから信頼される水道」を目指し、ICTの活用による業務の効率化や生産性向上等に取り組んでまいります。

貴協会におかれましても、建設DXの推進やICT技術を活用した測量など、生産性の向上に取り組まれており、今後も貴協会の優れた専門技術を発揮していただき、将来にわたり、安全で良質な水道水の安定供給を維持するため、より一層のご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



一般社団法人
福岡市設計測量業協会
会長 福澤 一博



福岡市
水道事業管理者
坂本 秀和

道路危険箇所調査

一般社団法人 福岡市設計測量業協会では、一年に一度の一斉道路危険箇所調査を実施しております。

本年度で9年目を迎え、協会員の協力の下、市内318.3km²と市域のほぼ9割に当たる地域を調査し、調査箇所の累計は6,754箇所となりました。

第9回調査結果

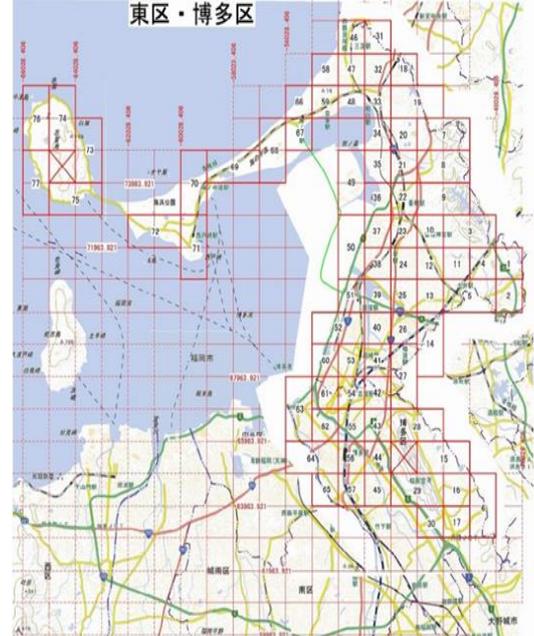
	東区	博多区	計
舗装の穴・陥没	46	54	100
舗装の破損・剥がれ	143	126	269
蓋の破損・ズレ	56	29	85
防護柵の破損	48	16	64
カーブミラーの破損	10	0	10
その他	131	50	181
調査箇所件数	434	275	709

※ 第9回調査 調査会員 延べ80社

調査期間: 令和4年4月～5月

調査地域: 福岡市 東区・博多区

調査範囲: 1km四方を各会員に振分け



▲ 令和4年度 道路危険箇所調査地域

災害支援活動

令和4年8月21日未明から朝方に掛けて降った125mmの豪雨により、福岡市東区下原地内にある蓼原池の護岸擁壁が崩落、上面道路の法面も崩落する災害が発生し、福岡市農林水産局農業施設課より、当協会と福岡市との「防災支援活動に関する基本協定書」に基づく災害支援要請がありました。

この要請を受け、福岡市担当者と技術・防災委員が現地立会を行い、被災状況の確認、今後の作業の進め方等を協議し、協会員の支援により測量・調査の作業を無事に終えることが出来ました。今回の災害は境界確認の結果、被災箇所が民地内に含まれることから支援作業は測量・調査までとなりました。

ご協力頂きました当協会員の方に感謝いたしますと共に、ご担当して頂いた福岡市担当部局職員の方へ御礼申し上げます。



福岡市との意見交換



令和4年11月9日に財政局、同30日に道路下水道局、また、12月8日に水道局契約課と「令和4年度福岡市・(一社)福岡市設計測量業協会との意見交換会」を開催しました。

昨年と同様に、今年度の意見交換会も自由で忌憚のない意見の交換を行いたい、との考えから、9日の財政局からは契約課長、技術監理課長外4名、30日の道路下水道局からは建設部各課の係長5名、水道局からは契約課長外1名が出席され、協会からは各々、会長及び副会長、事務局長の4名が出席して、事前に協会員の皆さんから寄せられたアンケートを基に、意見交換を行いました。

1) 設計測量業務に関して

- ・市ではCIMより施工者によるICTを先行している、との動向を伺い、協会も技術講習会を開催し技術研鑽に努めている事と、災害時でのドローン測量の有効性等をアピールしました。
- ・現在道路台帳を使用しての設計業務発注を行われている点について、現地調査等に手間を要していることから、実測による現地測量への変更を申し入れ、また、道路用地幅杭設置業務(単価契約)において、少量の場合単価が合わず苦慮している状況の改善について協議しました。

2) 契約及び指名に関しては

- ・地場企業の育成並びに防災協定の健全な維持の必要性から、「防災協定締結会員」への指名機会の増加、並びに平成26年度より毎年行っている「道路危険箇所調査」の活動をもって参加企業を「福岡市社会貢献優良企業」として認定して頂きたいと要望しました。
- ・市の方からは、指名機会については、指名基準により実績等を踏まえ公平に行っており理解願いたい。

また、総合評価導入時に社会貢献優良企業認定項目は廃止しており、現状においては認定等は難しいとの意見でしたが、市としても防災協定の維持は重要な事項であると認識しています、との意見も頂きました。

3) 市(道路下水道局)から頂いた意見

- ・発注者、受注者相互の確認のためにも、設計協議簿を確実に作成してほしい。
- ・道路下水道局として地下埋設物調査における地中レーダーの活用を考えていることから必要な場合、活用を提案してほしい。
- ・業務受注時の市担当者との現場確認には対応したい。



福岡市役所 財政局会議室にて

福岡市へ要望書提出

近年多発する災害への対応や道路、下水道等の整備・維持補修などに際して、今後も福岡市との良きパートナー・信頼できる業界として進展して行くため、企業選定や業務評価の観点からの要望をまとめ、令和4年7月21日に福岡市へ要望書を提出しました。



福岡市役所 財政局会議室にて

◆ 令和4年度 技術研修 ◆



技術講習会

令和4年10月25日、春日市のクローバープラザにて技術講習会を開催しました。

今回も昨年に引き続きコロナ対策を行いながら、講師をはじめとする関係者の協力で実施することが出来ました。講習会には協会員21名のほか福岡市からも7名の参加を頂きながら、講義内容として、

- ①道路排水設計における課題解決
 - ②令和4年度BIM/CIM要領の概要及び3次元点群データの利活用
 - ③コンクリート構造物の非破壊試験機器の用途・目的
- の各々について講演があり、①では落葉対策型やバリアフリー対応型の側溝の有効性、②ではVRによる様々な方向からの表示及び、クラウドシステムの活用、③では書籍からだけでは学べない非破壊試験の情報、などの有意義な講習でした。



ドローン操縦訓練

昨年に引き続き、今年度も福岡市環境局東部(伏谷)埋立場のご協力により、埋め立て場内でドローンの飛行訓練を実施させていただける事になりました。

令和4年10月3日は天候も良く、懸念された風も弱く、5社7台のドローンが空に上がりました。

ドローン操縦者は、基本的なホバリングや前後左右移動から、応用的な回転飛行や8の字飛行など、各々の業務に活かす為に必要な操縦訓練を埋め立て場の広い空間で行いました。

また、来場者はドローンにリンクされたディスプレイを通して、ドローンからリアルタイム映像を見ることができ、手の届かない場所や全体像を把握したい場面など、どのような場面でドローンが活用できるかイメージし易い工夫も行われました。今後も飛行訓練を継続し、増加する需要に対して操縦者の技術力を高めていければ幸いに思います。

そして、伏谷埋め立て場の広い空間を利用してドローンの飛行訓練を行うことができ、業務に生かす為に必要な操縦技能を高めることができました。また、安全に配慮した飛行計画・現場環境の判断・万一の準備も行われており、これ以上ない実践訓練の場でした。

今後も飛行訓練を継続し、増加する需要に対して操縦者の技術力を高めていければ幸いに思います。



測量の日 あそこまでなんぼ

令和4年6月3日、協会恒例の測量の日記念イベントとして「あそこまでなんぼ」を、中央区の天神中央公園において開催しました。

昨年、一昨年とコロナウィルスの感染拡大により中止を余儀なくされましたが、感染の低下も見られたことから、感染対策をしながら3年ぶりに実施し、檜山国土地理院九州測量部長様を始め、市や県の来賓の方々から参加を頂き無事に開催する事が出来ました。

26回目の今回も天候に恵まれ、例年と変わらぬ大勢の市民の皆様の参加を頂き、関係者一同安堵する中、予定通り終了いたしました。

開催に当たっては、会員の皆様には清掃ボランティアから設備の設置・撤去などに参加協力頂き、心から感謝申し上げます。



測量体験学習

令和4年11月18日、福岡市立三筑小学校の6年生110名を対象に測量の体験学習が実施されました。

算数で習う三角比を応用して、実際にアリダードを使った校舎の高さの測定に挑戦しました。

児童の皆さんは、教室で習っていることがどのように利用されているかを実感できたのではないのでしょうか。

この体験を基に、将来ものづくりの道に進んでくれる児童が出てくれると有り難いですね。



ソフトボール大会

第37回ソフトボール大会は、コロナ感染対策を行いながら4月15日に雁ノ巣レクリエーションセンターで無事に開催する事が出来ました。

参加が4チームのため相互審判が難しく、ソフトボール協会に審判を依頼する中、天候も崩れることなく、年配の選手や女性選手の活躍で対戦が進み、西技測量設計(株)が優勝カップを獲得されました。



優勝 西技測量設計(株)チーム

ボウリング大会

第41回大会は、11月25日に今回から会場をパピオボウルに移して実施しました。マスク着用などの感染対策に注意しながら開催する事が出来ました。

今回は7社9チームの参加があり、日頃馴染みのなかった方からベテランの方、また4名の女性の奮闘もあって楽しく進み、団体優勝は前回に引き続きメック(株)Aチーム、個人優勝は都市企画センター(株)の竹田さんが見事に獲得されました。



団体優勝 メック(株)Aチーム



個人優勝 都市企画センター(株) 竹田さん



祝 福岡市技能功労者表彰



この度は福岡市技能功労賞を拝受する事となり、(一社)福岡市設計測量業協会関係者の皆様にはご推挙をいただき、誠にありがとうございます。

私と測量の関係は、工業高校への入学が始まりです。高校卒業後、大阪の写真測量の会社に就職しました。ちょうど大阪万国博覧会の開催年にあたり、街全体も活気に満ちていたのが思い出されます。社内で配属されたのが、私の一生の仕事となります。図化機の操作業務です。当時は高度成長期時代、勤務も3交代制の24時間稼働でした。

図化機とは、2枚の連続撮影した航空写真を重ね合わせますとその重複した部分が立体的に見えます。その立体模造を図面化していく機械です。

図化機を操作するには、両手、両足、両眼が必要です。どれか一つ欠けても操作できません(現在のデジタル図化機では可能)。両手でX,Yのハンドル、両足でペダルとZ盤の操作、両眼で異なる写真を見るので立体的に見えるのです。

図化機もアナログから解析、デジタルと時代の変化、技術の進歩に伴い形を変えてきましたが、写真を図面化していくという考えは不変です。

話は戻りますが、会社勤めも6年程経った頃に、地元福岡の会社で図化機を借用出来るという話があり、独立開業となりました。24歳の時です。

その後、数年して図化機を購入、約40年程前の2200万円という高額機械でした。

社会人となり50数年、図化業務に関しては海外も含め日本各地の業務を経験してまいりました。又、図化職とは無関係ですが、国土地理院の四等三角点設置業務、西九州新幹線の土地調査業務等に管理職として携われた事はよい思い出でもあります。

その中でも一番の思い出は、業務ではなく水害遭遇です。昭和58年の夏、図化機を購入して1年程経った頃です。中央区平尾のビルの1階を賃借している時に、大雨による小河川の氾濫に遭いました。事務所内も50cm程浸かりましたが、図化機を設置した部屋だけは何としても汚濁流から守らねば、の一念で数人掛かりでバケツで掃出し、昼頃降り始めた雨も夕方には治まって、図化機の基礎部が数cm浸かっただけで事なきを得ました。

翌年、梅雨時期の前にビルの2階に引越したことは言うまでもありません。

さて、私の会社経営も40数年になります。今年は春に軽い脳梗塞を患いましたが、幸いマヒも残らず、今のところ図化職には影響ありません。

今後も体力、気力の続く限り、自社及び業界の発展に微力ですが、関わっていきたいと思っております。

最後に、(一社)福岡市設計測量業協会の会員、及び関係者の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたします。

この度はありがとうございました。

共和航業コンサルタント(株) 細川昇二



一般社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協) 会員数 正会員 64社・賛助会員 18社

令和5年1月現在

設計部門 30社

(株) ア オ イ エコーエンジニアリング(株)	(株) アジア建設コンサルタント (有) 鐘ヶ江設計 産業開発コンサルタント(株)	朝倉コンサルタント(株) 九州コンサルタント(株) (株)昭和建設コンサルタント ダン技術設計(株)	(株)旭建設コンサルタント 極水設計(株) (株)新世コンソーシアム 第一総合技術(株)
(株) サンコンサル (株)スリーエヌ技術コンサルタント	(株)西部技術コンサルタント 大正測量設計(株)	太洋建設コンサルタント(株) (株)東洋技術コンサルタンツ 福岡建設コンサルタント(株)	(株)大陸総合コンサルタント 都市企画センター(株) (株)富士総合技術コンサルタント
(株) 大建 (株)拓研コンサルタント (株)都市計画設計事務所 (株)不動エンジニアリング	(株) トキワ・シビル (有)野田土木設計事務所 メ ッ ク (株)		

測量部門 34社

(株) アイエスプランニング (株) エイティティ福岡 春日総合技術(株) 共和航業コンサルタント(株) 三栄測量設計(株) (株) 測 栄 舎 大樹測量設計(株) 西技測量設計(株) (株) 優輝総合コンサル	(株) アースプランニング S.K.D測量事務所 基洲測量(株) (株) コンテック (株) ジオ (株) タイセイ技建 (株) 高田工務所 (株) プライム技術開発 芳野測量設計(株)	井野測量設計 栄和測量設計(株) (株)九州技術協力 (有)光陽測量設計 伸光コンサルタンツ(株) (株) 大高開発 (株) 豊田工務所 福高総合技術コンサルタント(株)	(株) 浮羽技研 (株) ガイア 九州測量設計(株) (有)国土調査事務所 (有)セイワ測量設計 大光技術コンサルタント(株) (株) 中村測建 (株) 明和技研
---	---	--	--

賛助会員 18社

大野コンクリート(株) 九州ベルテクス(株) 日本地研(株) (株)福岡ヤマックス 水谷建設工業(株)福岡支店	(株) カクマール (株)ジオテック技術士事務所 日本ヒューム(株)九州支社 福井コンピュータ(株)九州営業所 (株) ヤマウ	(株) 柏木興産本店 (株) 実測 日之出水道機器(株)九州営業所 松永測機(株)	(株) 九コン 日本乾溜工業(株) 福岡コンクリート製品協同組合 (株) 水上洋行
---	---	--	--

お知らせ

【新入会】

日之出水道機器(株)九州営業所 所長 高巢倫明 (令和4年7月)
〒812-8636 福岡市博多区堅粕5-8-18 TEL 476-0555 / Fax476-0683

【代表者変更】

伸光コンサルタンツ(株) 代表取締役 大宮敏郎 (令和4年2月)
日本乾溜工業(株) 代表取締役 兼田智仁 (令和4年4月)
福岡コンクリート製品共同組合 理事長 馬場寛幸 (令和4年8月)
(株)ガイア 代表取締役 田中稔大 (令和4年10月)

【住所変更】

(株)スリーエヌ技術コンサルタント
〒812-0008 福岡市博多区東光2-1-13 協栄ビル8F (令和4年5月)
ダン技術設計(株)
〒815-0032 福岡市南区塩原3-3-25 (令和4年10月)



HINODE
ヒノダクタイル鑄鉄製グレーチング
GR シリーズ
縦断側溝用
横断側溝用
L型雨水機用
日之出水道機器株式会社
九州営業所 福岡市博多区堅粕5-8-18(ヒノデビルディング) ☎(092)476-0555
http://www.hinodesuido.co.jp/